

2022年各社の戦略

〈各社の掲載内容〉

上段：2022年の事業方針

中段：2022年の重点テーマと注力する取り組み

下段：2022年の注目商品

目次	(敬称略、五十音順)
朝日ウッドテック株式会社	2
旭ファイバーグラス株式会社	3
株式会社ウッドワン	3
永大産業株式会社	4
カネカケンテック株式会社	4
クリナップ株式会社	5
ケイミュー株式会社	5
コニシ株式会社	6
城東テクノ株式会社	6
ダイキン工業株式会社	7
大建工業株式会社	7
タカラスタANDARD株式会社	8
デュポン・スタイロ株式会社	8
TOTO株式会社	9
南海プライウッド株式会社	9
ニチハ株式会社	10
株式会社日新	10
株式会社ノーリツ	11
株式会社ハウステック	11
パナソニック株式会社	12
フクビ化学工業株式会社	12
吉野石膏株式会社	13
株式会社LIXIL	13
リンナイ株式会社	14
YKK AP株式会社	14

朝日ウッドテック株式会社



代表取締役社長
海堀 哲也 氏

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から約2年が経過しました。国内ではワクチン接種が進み希望の光も見えてきておりますが、いまだ収束には至っておらず、今年も予断を許さない状況が続くのではないのでしょうか。

コロナ禍を契機に世界中で人々の生活様式や働き方が変わり、私たちを取り巻くビジネス環境も大きく変化しました。

デジタル化や産業構造の改革が更に求められるとともに、消費者ニーズの多様化が加速しました。一方で、SDGsによる持続可能な共生社会の実現に向けて脱炭素化をはじめとする社会的ニーズが高まり、私たちの企業活動においてもより中長期的視点に立った課題解決が求められるようになりました。

このような中、弊社におきましては、ニューノーマル時代の暮らしへの対応や、ウッドショックによる木材資源環境の変化に柔軟に対応しながら、「天然木の良さ」と「時代が求める機能性」を両立させる商品開発を更に加速させ、引き続き天然木内装建材の新たな需要創造に取り組んでまいります。

「天然木第一主義」で新たな需要を創造

弊社は今年9月に創立70周年を迎えます。人々の暮らしを足もとから支える床材のリーディングカンパニーとして、長年培ってまいりました「天然木の良さを引き出す独自技術」と「持続可能な木材資源の利用」を事業活動の根底に据え、次の2テーマに取り組んでまいります。

一つ目は「より快適で衛生的な暮らしへの貢献」です。弊社は昨年、天然木ならではの意匠性や素材感そのままに、抗ウイルスをはじめとする五つの衛生性能を備えた、新たな床材ブランド「ハイジェニック」を発表しました。これら製品の価値を広くお伝えし、より多くの住まいに取り入れていただくことで、快適で衛生的な暮らしの実現に貢献してまいります。

もう一つは「パブリック（非住宅）市場への天然木の浸透」です。持続可能な資源としての木材への注目が高まる中、今後はパブリック市場においても「木のある空間」が増えていくと思われまます。これに先駆け、弊社ではパブリック専用の床材ブランド「メッセージ」を立ち上げました。各施設に求められる機能を備えた天然木商品を提案し、パブリック市場への天然木の浸透を目指してまいります。

本年もよろしくお願いたします。



ハイジェニック仕様とは

HYGIENIC

- 天然木であること
- 以下の5つの衛生性能を兼ね備えていること

1. 抗ウイルス性能
製品上の特定ウイルスの数を、24時間後に抗ウイルス処理なしと比較して99%以上減少します。
2. 抗ウイルス性能
製品上の細菌の数を、24時間後に抗菌処理なしと比較して99%以上減少します。
3. 耐薬品性能
次亜塩素酸ナトリウムやアルコールをご使用いただけます。
4. 耐汚染性能
雑菌繁殖のもととなる汚れを、きれいに拭き取れます。
5. 室内空気環境性能
国内最高レベルの室内空気環境性能です。

5つの衛生性能を備えた「ハイジェニック仕様」の天然木フローリング

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社
<https://www.woodtec.co.jp>